

# 指定管理者が行う公の施設の管理状況全期間評価

施設所管部名：環境生活部

## 1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	三重県環境学習情報センター (四日市市桜町3684-11)
指定管理者の名称等	アクティオ株式会社 代表取締役社長 鈴木 悟 (東京都目黒区下目黒1丁目1番11号 目黒東洋ビル4階)
指定の期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日
指定管理者が行う管理業務の内容	センターで行う事業は、次のとおりとする。 一 環境の保全に関する啓発及び普及を行うこと。 二 環境の保全に関する研修会、講習会等を行うこと。 三 環境に関する情報の収集及び提供を行うこと。 四 環境の保全に関する活動の促進及び交流等を図ること。 五 上記に掲げるもののほか、県民の環境保全活動の促進に必要な事業

## 2 管理業務の実施状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H23	B		・子どもエコクラブの事務局としての支援業務を全うした。 ・事業推進に当たって、人権尊重、障がい者対応、男女共同参画社会実現、次世代育成支援対策、環境保全活動など、県施策への配慮を怠らずに実施できた。 ・個人情報管理研修やマナー研修をはじめ、管理業務でスタッフに求められる各種研修を適時開催するなど、継続的なスキルアップ対策を実施した。 ・「みえ星空環境案内人養成講座(平成23年度開始)」など、新しい指導者育成プログラムを積極的に開始し、その後のフォローとなる実践講座も行った。 ・かんきょう川柳などの、環境啓発のきっかけ作りなどを行った。 ・新エネルギー、もったいない名人、ESDなどの時代に即した環境講座も並行して行った。
H24	B		
H25	B		
H26	B		
H27	B		

## 3 施設の利用状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H23	B		・クイズシート、ラリーシートなど、常設展示を活用した独自ツールを活用し、来館者の興味を高める工夫を実施した。 ・特別展示コーナーの新設や展示品の工夫、また工作教室の毎月開催等を実施し、常にフリー来館者数のアップと満足度向上に努めた。 ・季節ごとのイベントでは、近隣施設とのイベント共催など、ネットワークの拡大や認知度アップの相乗効果を図りながら、来館者数の増と満足度アップに寄与するよう努めた。 ・エコぞうパペットなどを自作展示、講座活用するなど、独自キャラクター「エコぞう」の認知度アップにより、幼児世代にも施設に愛着を持っていただくきっかけ作りなどにも努めた。 ・facebookやTwitterといったSNSを積極的に使ってアピールした。
H24	B	+	
H25	B		
H26	B		
H27	B		

## 4 管理業務に関する経費の収支状況(全期間)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
指定管理料	180,287,000	事業費	164,792,095
利用料金収入	46,100	管理費	14,858,466
その他の収入	1,166,938	その他の支出	0
合計 (a)	181,500,038	合計 (b)	179,650,561
収支差額 (a)-(b)	1,849,477		

参考

利用料金減免額	425,500
---------	---------

## 5 成果目標及びその実績

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間における成果目標及びその実績						
			成果目標項目	H27目標値	H23実績値	H24実績値	H25実績値	H26実績値	H27実績値
H23	B	+	環境教育参加者数	27,500人	29,454	33,797	31,911	32,149	29,873
H24	A		児童・生徒を対象とした環境教育参加者数	9,000人	8,120	9,276	8,277	8,953	9,339
H25	B		指導者養成を目的とした講座受講者数	1,500人	1,530	1,567	1,461	1,503	1,601
H26	B		講座参加者の満足度	90%	99.4%	99.6%	99.8%	98.8%	98.5%
H27	B		一般県民を対象とした環境学習参加者数	2,700人	2,937	3,685	3,593	3,030	3,064
			情報発信数	365回	375	398	372	373	366
全期間におけるコメント									
全期間において、すべての成果目標項目について、目標値を達成することができた。また、大幅に上回った年も多い。									

## 6 総括評価

・これまでのノウハウを生かし、施設・設備や図書等の管理、貸室・教材の貸出業務など適切な維持管理を行うとともに、特別展示コーナーの新設、クイズシート、ラリーシート等常設展示を活用した独自ツールの使用など来館者の満足度向上と利用しやすい環境づくりに努めた。

・主催講座、出前講座を県内各地で積極的に行い、時代に即した講座や新しい指導者養成プログラムを取り入れるなど工夫をしている。また、イベントの開催においては、近隣施設との共催の相乗効果を図り、来場者数の増に努めるとともに、他のイベントへの出展も行った。

・情報誌の発行やメールマガジンの配信、facebook、TwitterといったSNSを使い、啓発やPRに努めた。

・環境教育参加者数等の成果目標についても、全期間において目標値を達成しており、参加者の満足度も高いことから、県民サービスの向上、環境保全に関わる人材育成の推進につながったと考えられる。

・平成28年度以降も同じ指定管理者が管理を行うが、今後も県民ニーズに対応しながら講座内容の充実に努めるとともに、指導者養成講座の修了者が指導者として活動できるよう支援を行っていく必要がある。また、学校からの施設見学・体験学習参加者の増加を図るとともに、県内環境活動者のネットワークの構築を期待する。

「2 管理業務の実施状況」の自己評価	「A」 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。
：	「B」 業務計画を順調に実施している。
：	「C」 業務計画を十分には実施できていない。
：	「D」 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。
「3 施設の利用状況」	「A」 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
「5 成果目標及びその実績」の自己評価	「B」 当初の目標を達成している。
：	「C」 当初の目標を十分には達成できていない。
：	「D」 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。
県の評価	「+」(プラス) 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。
：	「-」(マイナス) 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。
：	「 」(空白) 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。